

駅体制の見直しについて 提案を受ける！

1. 実施内容と実施日

- ・いわき統括センター(いわき駅)輸送体制の見直し
- ・原ノ町統括センター(原ノ町駅)お客さまサポートコールシステム導入
- ・2024年4月1日実施

2. 箇所体制

箇所名		現行					改正				
		変形等	交代	乗務員		合計	変形等	交代	乗務員		合計
				日勤	泊				日勤	泊	
いわき統括センター	管理	10	4			14	10	4			14
	一般	14	6	11	15	46	15	5	9	15	44
原ノ町統括センター	管理	5	2			7	5	2			7
	一般	6	1	9	13	29	5	1	8	10	24

※上記、「現行」は2024年3月ダイヤ改正前の体制を計上している。
 ※業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。
 ※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

参考資料1 販売体制変更

友部駅・上菅谷駅 みどりの窓口営業終了 2024年3月1日実施

参考資料2 業務委託駅の販売体制変更

赤塚駅・結城駅 みどりの窓口営業終了 2024年3月1日実施

主な労使議論

- 組合:今施策の目的を明らかにすること。
 会社:効率的な業務執行体制を構築し、生産性向上を図り、経営体質の抜本的強化に取り組むためである。
- 組合:いわき駅輸送体制の見直し内容について示すこと。
 会社:現在3徹である。車内貫通作業や夜間作業受付、臨時列車の抜粋等を行うC番を日勤にする。作業方法を見直し、貫通作業を副長や営業社員が担う。信号2徹は変更しない。
- 組合:原ノ町駅お客さまサポートコールシステム稼働時間帯を示すこと。
 会社:早朝時間帯や夜間、一部日中時間帯を検討している。お客さまサポートコールシステム導入により、1徹1日勤体制を1徹体制とする。
- 組合:友部駅、上菅谷駅、赤塚駅、結城駅のピーク時間帯や発券枚数、今後の対応方法を示すこと。
 会社:友部駅の発券枚数は1日200枚強。改札内にある指定席券売機を改札外に移動し、話せる指定席券売機として運用する。
 上菅谷駅の発券枚数は1日100枚弱。指定席券売機を追加する。
 赤塚駅の発券枚数は1日150枚程度、結城駅の発券枚数は1日50枚程度である。
 4駅とも指定席券売機を導入しているため、改札係員が券売機案内等を行う考えである。

JR東労組水戸地本は組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を行います！